

日本ハーブ療法研究会 第1回学術集会  
プログラム

10:20 開会のご挨拶

今西二郎 (明治国際医療大学附属統合医療センター)

10:30 会長講演 座長:鈴木信孝 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科)

「これからの医療とハーブ療法」

渡邊昌 (公益社団法人生命科学振興会)

11:00 特別講演Ⅰ 座長:亀井勉 (長崎大学産学官連携戦略本部)

「伝統的東洋ハーブ羅布麻(ラフマ)によるメンタルケア—その機能性と安全性—」

立崎仁 (株式会社常磐植物化学研究所)

11:50 昼休憩

13:10 特別講演Ⅱ 座長:橋口玲子 (緑蔭診療所)

「漢方とハーブ療法の共通点と相違点」

田中耕一郎 (東邦大学医療センター大森病院東洋医学科)

14:00 特別講演Ⅲ 座長:上馬場和夫 (帝京平成大学ヒューマンケア学部)

「アーユルヴェーダで用いるハーブ・アロマ」

クリシュナ U.K. (日本アーユルヴェーダ・スクール)

15:00 一般演題

座長:浅川義範 (徳島文理大学薬学部)、入谷栄一 (いりたに内科クリニック)

1. 「ヒノキ精油の抗不安様作用」

○粕谷ひかる<sup>1</sup>、佐藤忠章<sup>1</sup>、増尾好則<sup>2</sup>、小池一男<sup>1</sup>

(東邦大学薬学部<sup>1</sup>、東邦大学理学部<sup>2</sup>)

2. 「中国産食用茸ツブイボタケ (*Thelephora vialis*) 含有vialinin類のRBL-2H3細胞におけるTNF- $\alpha$ 産生阻害活性メカニズムの解析」

○吉岡泰淳、菅谷紘一、小野瀬淳一、阿部尚樹

(東京農業大学応用生物科学部)

3. 「欧州の*Leonurus cardiaca* と東アジアの*Leonurus japonicas* 「益母草」の植物化学と薬理的な研究:RP-HPLC、HPTLC、<sup>1</sup>H-qNMRで生薬の窒素含有成分とフェノール類成分を定量した。」

○Kuchta K<sup>1,2</sup>

(Sanyo Gakuen University<sup>1</sup>、Leipzig University<sup>2</sup>)

4. 「ダイエットにおけるハーブティーとアロマオイルの効果」

○櫻井文明、鈴木美保子、長岡ひとみ、水戸部友子、関根愛、箱崎綾子、長岡史織、高橋真澄、山岸智美

(朝日町立病院)

5. 「日本におけるアーユルヴェーダ・ハーブの可能性」

○及川史歩<sup>1,2</sup>、西脇俊二<sup>1</sup>、小峰博夫<sup>1,2</sup>、野本裕子<sup>1</sup>、益岡真理子<sup>1</sup>、荒井美江子<sup>1</sup>、クリシュナ U.K. <sup>1</sup>、上馬場和夫<sup>1,2,3</sup>

(日本アーユルヴェーダ・スクール<sup>1</sup>、ハタイクリニック<sup>2</sup>、帝京平成大学ヒューマンケア学部<sup>3</sup>)

16:40 懇親会